

# MAYA

## むさしの歩こう会

第068号

2026年1月1日

西180-0006

東京都武蔵野市中町2-21-15

発行責任者 近藤 和義

TEL. 0422-53-5252

FAX. 0422-52-8100

### 2026年度ウォーキング事業計画について

会員のみなさま、新年あけましておめでとうございます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。今年は丙午（ひのえうま）の年で、「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」年になるといわれております。今年も一緒に元気に歩きましょう。

昨年度は好評のバスウォーク『富士芝桜』の見事な景観を楽しむことができましたが、猛暑の影響で熱中症警戒アラートの発表があり、残念ながらウォーク事業を2回中止せざるを得ませんでした。

2026年度のウォーク事業は現在検討中ですが、皆様に健康的に楽しんでいただけるよう、暑さ対策を取り入れた日程を組んでまいります。2026年度も定例ウォーク（10回）、カルチャーウォーク（5回）、シリーズウォーク（5回）の3本柱で進めてまいります。

定例ウォークは、川崎大師（神奈川県）、旧大山街道散策、手賀沼周遊（千葉県我孫子市）、野川緑道散策、横浜里山ガーデンの大花壇（神奈川県）、2024年度雨で中断となった国立の大学通りの桜鑑賞、DNPの杜から靖国神社、日本橋七福神、等を企画中です。

カルチャーウォークは、好評のバスウォークについては『大谷資料館』（栃木県宇都宮市、坑内年平均気温は8℃前後の約20,000m<sup>2</sup>をほこる地下採掘場跡）、大宮盆栽公園＆鉄道博物館、東京文化財ウォーク、神田川・環七地下貯水施設見学の再トライ、焼き芋フェスタ中野2026、を計画中です。

シリーズウォークは、都心の『庭園』をテーマとします。旧古河庭園から六義園と小石川植物園、旧芝離宮恩賜公園と浜離宮恩賜庭園、向島百花園から浅草寺、旧岩崎庭園から小石川後楽園、清澄庭園、を『花』の咲く時期を考えた日程を検討いたしております。

偏西風の蛇行による温暖化が進むなか、花の開花時にウォーク事業を合わせるのは難しいのですが、チャレンジしたいと思います。どうぞご期待ください。

（事業推進委員会）



### 下水道の心配Ⅱ

理事長 近藤 和義

皆様どのような新年をお迎えですか。私にとって昨年は人生最悪の年といつても過言ではなかったのです。

今年は明るい希望の年となるよう大晦日に心を込め、檀那寺の除夜の鐘を突きました。皆さんは昨年どんな年でしたか？また新年にどのようなことを期待しますか。

さて昨年大きな事故となりました埼玉県八潮市の下水道幹線陥没事故については皆様にお知らせいたしましたが、事故原因は下水から発生した硫化水素（H<sub>2</sub>S）が水と反応し、硫酸（H<sub>2</sub>SO<sub>4</sub>）ガスに変化して酸に弱いコンクリートを侵食した可能性が高いと報道されました。

この状況は日本全国で起こる可能性があります。武蔵野市では細い下水管を含めると、およそ190kmが敷設されています。八潮市と同様な個所が2カ所あります。違うのは流域の人口が武蔵野8万人、八潮流域は120万人、影響は人口に比例します。

皆さんの住まわれている街の下水管はいかがですか。下水は文化生活を送るうえで重要な要素の一つです。何事もなく継続するといいですね。

一つの例えです。世界有数の観光地ベネチアはこの下水がありません。行かれた方はご存じと思われますが、街全体が湿地の上に造られた人工島のため自然流下の下水は作れず下水はないためそのまま運河や海に流されているとありました。これまで長年の知恵で海流と潮の満ち干による自然の浄化作用でそれほど問題なく浄化されていました。しかし近年の旅行者増や海流の変化、海面上昇による高潮によって、浄化しきれなくなったといわれています。近年生活排水の浄化のため浄化槽設置も進められているそうですが、水質の保持はなかなか大変といわれています。

日本は早いうちから下水道整備をしてきました。また皆さんが下水に流す物質も変化してきました。このため水再生センター（汚水処理場）にも負担が出てきます。

一番の大敵は「油」です。皆さん「油」は原則流さない。できるだけ紙で取り、燃やすごみにしましょう。下水管の中で固まって「オイルボール」ができてしまいます。

歩いている道路の下は下水管、感謝しつつ歩きましょう。

## 例会案内

※詳細内容につきましては、毎月お送りしております「例会案内」をご覧願います。

### 第201回定例ウォーク 新春 荘原七福神めぐり

開催日時 2026年1月4日(日) 午前9時30分集合  
 集合場所 東急目黒線 西小山駅…駅前広場  
 解散場所 JR大井町駅 午後1時頃  
 歩行距離 約7km  
 歩行コース 西小山駅/スタート～立ち合い通り～①摩耶寺(寿老人)～②小山八幡神社(大黒天)～荏原南公園(WC)～池上線踏切～③法蓮寺(恵比寿天)～源氏前公園 {WC}～④上神明天祖神社・「蛇窪神社」(弁財天)～品川ふれあい広場～⑤養玉院・如来寺(布袋尊)～西大井駅踏切～⑥不動院・東光寺(毘沙門天)～⑦大井蔵王権現神社(福禄寿)～大井町駅/ゴール

\*2026年新春ウォークは、東急目黒線西小山駅から大井町駅まで品川区を東西に横断する約7kmの七福神巡りです。「荏原七福神」は東京都品川区の「荏原」地域にある由緒ある七つの社寺を巡拝することからそう呼ばれています。

西小山駅前をスタートして立ち合い通りを進み、①摩耶寺、②小山八幡神社にお参りして荏原南公園で小休憩。池上線踏切を渡り③法蓮寺に到着。次、源氏前公園で小休憩後、④上神明天祖神社(通称、蛇窪神社)に出ます。蛇窪神社は、白蛇のご利益があるとの事で、参拝者で大混雑するそうです。

お参り後、品川区ふれあい広場で小休憩、⑤如来寺に参拝。更に進み西大井駅の踏切を渡り⑥東光寺参拝、最後はビルの間にある⑦大井権現神社に到着。参拝後、大井町駅で解散となります。

皆様どうぞ、それぞれの格調高い七つの社寺で七福神の福をぜひお授かりください。

(文:須藤 昭枝)



### 第69回カルチャーウォーク 神田川・環七地下貯水施設見学=中止

2026年1月17日(土) 開催予定でしたが、現地工事中で見学できないため、今回は中止とさせていただきます。  
2026年度以降に再度計画する予定です。

(文:元木 満生)

### 第4回シリーズウォーク 豪徳寺と羽根木公園の梅まつり

開催日時 2026年2月28日(土) 午前9時30分集合  
 集合場所 小田急線 豪徳寺駅  
 解散場所 京王井の頭線 東松原駅 14時30分頃  
 歩行距離 約5km  
 歩行コース 豪徳寺駅 駅前広場(スタート)～豪徳寺/梅鑑賞(WC)～城山通り～烏山川緑道～世田谷区役所前～若林公園(WC)～烏山川緑道～梅ヶ丘駅～羽根木公園/梅まつり(昼食)～東松原駅(ゴール)

\*今回のウォークはシリーズ第4回で世田谷区の豪徳寺と梅まつりが開催される羽根木公園を巡ります。

『豪徳寺』は彦根藩主・井伊家の江戸における菩提寺で、墓所には歴代藩主・正室たちの墓が合計302基あり、その威容は圧巻です。また「招き猫」発祥の地といわれ、境内には右手を上げ小判などを持たない素朴な白い招き猫が数多く奉納されています。

『羽根木公園』は、現在は約650本・60種の白やピンクの梅の花が咲き見事な景観を呈します。毎年2月中旬から3月上旬には「世田谷梅まつり」が開催されます。梅まつり期間中はたくさんの見物客で混雑が予想されます。



豪徳寺駅をスタート。約15分後、曹洞宗 豪徳寺へ到着、小休憩(WC)。城山通りにはいり、世田谷区で唯一の歴史公園『世田谷城址公園』を通過、烏山川緑道へ。

世田谷区役所前の信号を左折、若林公園で小休憩(WC)。このあと梅ヶ丘駅を目指し北上します。北沢川緑道を渡ると、梅まつりが開催されている『羽根木公園』に到着、昼食休憩とします。

梅の花鑑賞後、北の広場からゴールの東松原駅へ。  
(文:小松 巧)

### 第202回定例ウォーク 日蓮宗總本山 中山法華経寺から荷風の散歩道

開催日時 2026年3月14日(土) 午前9時30分集合  
 集合場所 JR総武線 下総中山駅 北口駅前広場  
 解散場所 JR総武線 本八幡駅 午後2時頃  
 歩行距離 約7km  
 歩行コース JR総武線 下総中山駅/スタート～千葉街道～京成中山駅～黒門～赤門～法華経寺(祖師堂・五重塔・法華堂・四足門～若宮奥の院～本行院～中山小～木下街道～歯科医院～鬼越駅前通り～京成本線 線路際～真間川/上境橋～市川市役所～不知森神社～葛飾八幡宮/昼食～商美会ロード/荷風の散歩道～白幡天神社～荷風の散歩道～本八幡駅/ゴール

\*今回のウォークは日蓮宗の総本山 中山法華経寺から文人・永井荷風が歩いた市川の街をたどるウォークです。

下総中山駅からまっすぐに伸びる道は中山法華経寺の参道。黒門（総門）から赤門（総門・仁王門）を潜り、左右に支院が立ち並ぶ石畳の参道を進む。境内には、比翼入母屋造りの祖師堂をはじめ、五重塔、法華堂、四足門など国的重要文化財に指定されている建物も多く、大寺の風格を醸し出しています。



参拝後、若宮奥の院へ向かう。鎌倉幕府を批判し、鎌倉を追われた日蓮が、領主・富木常忍に招かれて、初めて「百日間の法輪」を行った由緒ある寺で、これが法華経寺の始まり。

市川には、北原白秋や幸田露伴など多くの文学者の足跡が残されているが、法華経寺のあとは市川を終の棲家とした永井荷風を追う。

住宅街を抜け京成本線の線路際を歩いて不知森神社から市川の総鎮守・葛飾八幡宮に向かう。参道はイチョウ並木が連なり朱塗りの隋神門とのコラボも見どころです。荷風は日記『断腸亭日乗』に、美しい社殿や絵馬堂の額に魅せられ、浅草観音堂を思い出したと記述しています。

昼食後、京成八幡駅から続く商店街は、荷風がよく歩いた道で、「荷風の散歩道」と名づけられている。荷風の散歩道を歩き白幡天神社へ。白幡天神社は四季の花が美しい源氏ゆかりの古社で、源頼朝が白旗を掲げたのが社名の由来とのこと。

その後、再度荷風の散歩道を引き返しゴールの本八幡駅へ向かいます。

(文：元木 満生)

## 第5回シリーズウォーク リバーサイドのさくら鑑賞

開催日時 2026年3月28日(土) 午前9時30分集合

集合場所 東京メトロ東西線 木場駅1番出口

解散場所 東京メトロ銀座線 浅草駅 午後2時頃

歩行距離 約8km

歩行コース 沢海橋第一児童遊園(スタート)～木場公園～仙台堀川公園(仙台堀川)～横十間川親水公園(横十間川)～猿江恩賜公園(昼食)～大横川親水公園～墨田公園～浅草駅(ゴール)

\*2025年度締めのウォークは、木場公園、猿江恩賜公園、大横川親水公園及び隅田公園をめぐるさくら三昧観賞ウォークとなります。

沢海橋第一児童遊園に集合しスタート。

木場駅より北上、すぐに木場公園に到着。バーベキュー広場ではあふれんばかりにソメイヨシノが咲き誇ります。

す。ほかにも、大島桜や八重桜、しだれ桜など多種多様な桜が植えられており、広大な敷地内のいたるところで観賞することができます。また、公園東側の大横川沿いには河津桜が濃いピンク色の花を咲かせ、散策する人の目を楽しませます。木場公園大橋を渡り、仙台堀川沿いの仙台堀川公園内を進みます。

仙台堀川公園の突き当たりを左に曲がると横十間川沿いの親水公園を北上、猿江恩賜公園に向かいます。

猿江恩賜公園は新大橋通りをはさんで野球場、庭園のある落ち着いた雰囲気の南園とテニスコート、広場、遊具のある開放的な北園に分かれています。主な植物は、イチョウ、ソメイヨシノ、メタセコイヤ、ラクウショウ、プラタナス、チューリップがあります。ここで昼食休憩を取ります。

猿江恩賜公園の後は大横川親水公園を歩きます。この公園は東京スカイツリー付近から南へ真っ直ぐ1.8kmにわたって続き、園内は北から順に、釣堀がある「釣川原ゾーン」、水遊びが楽しめる「河童川原ゾーン」、渓谷とビオトープに癒やされる「花紅葉ゾーン」、イベントなどが開催される「パレットプラザゾーン」、スポーツ施設がある「ブルーテラスゾーン」の5つに区分されています。お花見の見頃は3月中旬～4月上旬で、桜の種類はソメイヨシノ、シダレザクラ、カンザンザクラです。

最後の隅田公園は

「日本さくら名所100

選」にも選ばれている花見の人気スポットです。墨田区側に約300本、対岸の台東区側に約600本の桜が植えられています。墨田区側より言問橋を渡り、対岸の台東区側の隅田公園を散策しながら、東京メトロ銀座線浅草駅でゴールとなります。



(文：下之園 久)

## 例会ウォーク実施報告

### 2025年9月27日(土) 第2回花シリーズウォーク 権現堂堤の曼珠沙華鑑賞

今年度2回目のシリーズウォークは、埼玉県幸手市の権現堂桜堤の曼珠沙華鑑賞でした。幸手駅までは長旅であったが途中仲間達と合流出来、乗換えトラブルしながらも無事たどり着いた。

集合時間には34名が集い、好天の中10時15分出発、旧街道の街並みを進み、途中勤労福祉会館でトイレ休憩し11時に権現堂桜堤西側に到着。明治天皇が東北巡幸の

際立ち寄られた記念の「行幸堤之碑」を眺めた後、桜堤の北側斜面に向かうと曼珠沙華の真赤な絨毯の光景が飛び込み美しさに感激した。中間点のヤギ小屋を通り、中川の外野橋を渡り昼食場所の「万葉の公園」展望台へ。ここから埼玉県120周年を記念して120フィート噴き上がる大噴水を、眺めながらの食事であつた。



食後は桜堤の「峠の茶屋」広場で一時解散、30分の自由行動とし東側エリアの素晴らしい曼珠沙華を観賞後、最後の「JA農産物直売所」に向かった。本来解散場所は幸手駅であったが、久し振りの長距離歩きと暑さのためJAで解散、各自、三々五々バスや歩きで駅に向った。

最後に買い物等で残った26名も担当幹事の提案で全員頑張って歩き、駅にたどり着きました。

権現堂桜堤約1km、地元ボランティアの努力で約300万本の満開の曼珠沙華を観ることが出来、素晴らしい1日でした。みなさまお疲れ様でした。

(理事:山本喬)

## 2025年10月11日(土) 第196回定例ウォーク 渋谷から麻布十番・六本木を歩く

「♪シトシトピッチャン、シトピッチャン♪」とシットシット雨が降る当日でした。

幹事は、9時頃に協議し「中止」としましたが、集合された参加者一般3名、他協会員1名、会員22名計26名に、この小雨であれば渋谷駅に戻れる範囲の國學院大學博物館まで行くことにしました。

渋谷は、100年に一度の大規模再開発中で2034年度の完成後も再開発は継続との事。

雨でも訪日客が、スマホ片手にハチ公前で写真撮影の行列。10月はハロウィンで賑わう街は、区長がルールを守り「禁止だよ 迷惑ハロウィン」と宣言。閉園された東急百貨店屋上遊園地で遊び、大食堂でナポリタンを食べ、渋谷公会堂へ民放TVの歌番組を見に行った私は思い出のある渋谷の変貌を実感しました。

繁華街、首都高速がすぐ近くを走っているのに、予想以上に静寂な由緒ある金王八幡宮の社殿と神門を拝観。そして、國學院大學博物館に到着。國學院大學は、箱根駅伝で有名ですが有栖川宮熾仁親王との関わり、大学名の表記



(常用漢字体の国学ではなく旧字体を使用の国学)について知りました。今月の企画展は「中世日本の神々—物語・姿・秘説—」です。この博物館でトイレ休憩を兼ねて約30分間見学。出発時、國學院大學博物館で解散としましたが、常盤松の碑、氷川神社、祥雲寺まで行く事に変更。

常盤松の碑は、樹齢約400年もの見事な枝ぶりの松「常磐松」にまつわる言い伝えがあり、昭和時代に枯れて戦後には焼失したため、現在は石碑の傍らには、新たに植え替えられた松がありました。

氷川神社を拝観してから祥雲寺に到着。筑前福岡藩主・黒田長政(黒田官兵衛の子供)の墓所は、渋谷区の指定文化財に認定、檀家は武家が多く外様、諸大名合計13家の墓地群がありました。

雨は、相変わらず降っておりこの祥雲寺で解散。今年の夏は、猛暑、酷暑でしたが、渋谷、広尾の今(猛熱、酷熱)と昔(國學、社寺の歴史等)を実感したウォークでした。

雨の中、第196回定例ウォークに参加していただいた皆様有難うございました。

(理事:小林京子)

## 2025年10月25日(土) 第197回定例ウォーク 東京探索 御茶の水から浅草

昨夜来の雨は当日朝になんて止むことはなく、当然、参加者の出足にも影響がでました。午前8時40分ごろにようやく一人、二人とお見えになり、最終的には参加者合計19人(会員17人、一般2人)でした。気温も12度と上がり、昼食場所に予定していた上野公園も雨で座るところがないという判断で、御茶ノ水聖橋口→湯島聖堂→神田明神→湯島天満宮→上野公園で解散という、午前中ののみのコースに変更になりました。

まず、御茶ノ水駅聖橋口を出て信号を渡るとすぐに湯島聖堂。しかし、なんと開門は午前9時半のため、中に入れません。幹事の失態です。皆さん、ごめんなさい!前日、湯島聖堂のホームページを見ていたのに開門時間をチェックしなかったとは!

気を取り直して、湯島聖堂からほど近い神田明神へ行き、もう一度湯島聖堂へ戻ることにしました。

神田明神は正式名称「神田神社」、東京の中心108町会の氏神様だそうです。神田明神には人気者の御神馬「あかりちゃん」(生馬)がいるそうですが、今日も会えませんでした。代わりに、野村胡堂の名作でお馴染みの銭形平次の碑や、数少ない江戸期の石造物の一つで石切の名工の作品

「獅子山」を見たあと、再度湯島聖堂へ。

湯島聖堂の門をくぐると、そこはまさに都会の喧騒を離れた別世界。大成殿を背後に階段を降りていくと、楓樹が茂り、さらに奥には孔子銅像が建っていました。孔子の銅像としては世界最大だそうです。



次は、学問の神様として知られる菅原道真公を祀っている湯島天満宮。梅の名所でもありますが、近年梅の木の老化により、花の量が減少しているそうです。老化の問題は人も自然も一緒ですね。

湯島天満宮から上野公園はすぐです。上野不忍の池では、花の時期を終えた蓮が大量の実を着けていました。ここに満開の蓮の花が咲いていたら、どんなに見事でしょう！見ごろは7月下旬から8月上旬だそうです。ただし、早朝から遅くてもお昼頃まで行かないと、花は閉じてしまいます。来年こそは！

ハロウィン屋台村で賑わう公園内を歩き、西郷さんの銅像の前で解散となりました。雨の中お疲れ様でした。

(理事：藤原 照子)

## 2025年11月15日(土)

### 第198回定例ウォーク

#### 三軒茶屋から蛇崩川緑道と目黒川散策

11/15. 三軒茶屋パティオに集合されたメンバーは総勢38名でした。

小春日和で、ウォーキングには最適な青空の下、皆様とおしゃべりを楽しみながら和気あいあいのウォーキングはとても楽しかったです。先頭の元木さんにはお世話になりました。色々と下調べをして下さり、皆さんを先導して頂きありがとうございます。

私はただ後をついて行くことしか出来ず、申し訳ないです。たまに意気揚々と先頭を歩いていたら早く歩きすぎたり、又、行きすぎたりと反省しています。

責任感の違いでしょうか！ぼーっと過ごしていくはいけないのでですが、この会に来るとどうも気が緩んでしまいます。注意しなくては！

では、少し本日の行程を振り返ります。三軒茶屋は大山詣の旅人で賑わった大山街道と登戸道の分岐にあり、三軒の茶屋が並んでいたのが町名の由来とのこと。

そこから江戸の太平を祈願して造られた五色不動の一つ、目青不動を安置しているお寺の教学院(決して学習塾ではありません)に立ち寄り、蛇崩川を暗渠化した蛇崩川緑道へ。蛇崩川の名の由来ですが、AIに聞いてみると「大蛇伝説」と「川の地形による説」がありました。多くの緑道では地域住民やボランティア団体が清掃活動や花壇の手入れなどに協力し、緑豊かな環境を保っているそうです。ありがとうございます。

次に、山門が阿波徳島藩主 蜂須賀公爵邸の中屋敷門を移築した真言宗智山派の西澄寺へ。

立ちよらない予定でありましたが、時間的に昼食には早すぎたので、世田谷觀音にむかいました。見応えのある六角堂、金閣寺を模した三層構造の阿弥陀堂、天井に鳴き龍彫刻を施した仁王門をマスク着用で拝観。



今回歩いたこの一帯は馬(駒)にまつわる地名が多く、下馬、上馬。芦毛塚、そして源 頼朝が馬を繋いだという松の四代目が残る駒繋神社がありました。

祐天寺、正覚寺、目黒川、中目黒公園とアップダウンもありながらも、行人坂の大火の犠牲者を弔う五百羅漢が並ぶ大円寺まで辿りつきました。

久々の9kmに及ぶ行程、皆さまお疲れさまでした。

(理事：田中 裕子)

## 2025年11月29日(土)

### 第3回シリーズウォーク

#### 外苑のイチョウ並木と鰯焼き「わかば」

千駄ヶ谷駅前広場に会員総勢58名が集合し、近藤理事長の挨拶、加納・川尻幹事のコース説明の後で定刻に出発し近くの国立競技場へ向かう。この競技場は建築家の隈 研吾による地上5階地下2階の建物で大きさは圧倒的だ。当日は丁度チアリーディングの大会があり各チーム女子が大勢集まっていた。コーチに従い練習する姿が初々しく可愛らしかった。

ここで一句、「チアガール 掛け声ひびく 秋の空」

今日はイベント開催のため残念ながら5階に設けられた850mの遊歩道「空の杜」は見学不能だった。機会があれば是非行ってみたいものだ。

明治神宮野球場を抜けて明治神宮外苑のイチョウ並木を見物した。道路の両側にはイチョウ並木が続き外人客も大勢つめかけて写真撮影していた。

ここで一句、「ここにもか イチョウ並木に 外人が」

我々も写真を撮影しながら散策し、青山二丁目交差点で折り返して反対側歩道へ。奥の聖徳記念絵画館まで一望出来て、青い空にイチョウの黄色が映えて美しかった。



数日前に訪れた昭和記念公園の「かたらいのイチョウ並木」を思い出します。観光客が少ない分、散り積もったイチョウがフカフカの絨毯の様でお勧めです。

その後、外苑東通りを横切って迎賓館（赤坂離宮）を右に見て進む。どこまでも屏が続き、迎賓館の広さを痛感した。歩道が狭くてマラソンランナーが通過するたびにヒヤヒヤしたが、ランナーにとっても同じかも知れない。何回か坂道を上り下りしてから四谷見附公園へ到着。ここには中央と北側に新宿区内随一の大きさのプラタナスの木がある。11時だが早めのランチタイム(40分間)をとった。

その後は須賀神社へ。ここは天井画が美しい。東京大空襲で奇跡的に焼け残り、建物の脇にその複製(三十六歌仙とその和歌の絵)がありました。映画「君の名は」のラストシーンに登場する男坂と呼ばれる階段はアニメの聖地巡礼地だとか。数人の外人観光客が来ていた。

次は於岩稲荷田宮神社、陽運寺(於岩稲荷)を参詣し

た。東海道四谷怪談のお岩さんとは違い、実在のお岩さんは夫の田宮伊右衛門と家を再興した立派な女性だったそうだ。これらのことから商売繁盛、夫婦円満の神社として信仰を集めるようになった。また、陽運寺は於岩稻荷田宮神社の人気にあやかり建立されたそうだ。

引き返して西念寺へ向かった。ここは服部半蔵が非業の死を遂げた家康の長男の信康を弔うために創設した。奥には信康の供養塔があった。服部半蔵は信康の介錯を命じられたが出来なかったといわれている。寺の奥の間には槍の半蔵と異名され、家康から拝領した槍が飾られてた。

いよいよ東京の三大鯛焼きの一つ鯛焼きの「わかば」へ向かうが、店内は狭い上に順番待ち客も多く、数時間待つというので諦めた。

(因みに東京の三大鯛焼きは、四谷の「わかば」、人形町の「柳家」、麻布十番の「浪花家総本店」です。) 焼き方が一丁焼き(一匹ずつ焼く焼き方)なので一度に複数匹を焼く「養殖物」とは一線を画す「天然物」としてその価値を不動のモノとしているそうです。

### ここで一句、「天然は良いが行列 待てません」

鯛焼きを買わず四谷駅へ向かう人もいるので西念寺にて一応解散とした。天気も良くてイチョウも美しく、普段行けない処を見学できて良かったです。事前に調査し、誘導して頂いた役員の方々に感謝します。次回もよろしくお願ひいたします。

(会員：高橋 与志昭)

## 2025年12月6日(土) 第199回定例ウォーク 紅葉の多摩湖周遊

当日の多摩湖周辺は、最低気温0度、最高気温11度予報の冬晴れの中、参加者は一般2名、他協会員1名、会員32名計35名でした。

都民の水源である多摩湖(正式名称は村山貯水池)は、大正時代に東京市の水道拡張計画の一環として建設され、玉川上水だけでは増え続ける東京の人口への給水が脅えなくなり、またコレラなどの疫病対策として、1927年(昭和2年)に完成した人造湖です。

スタート場所の都立狭山公園の東屋からは、8時半時点で雪をかぶった富士山がくっきり見て清々しかったです。

「さ～ 紅葉を愛でながら緑林の中、ゴールまで8キロひたすら歩こう」と心の中で号令をかけてスタートしました。

西武遊園地・西武園ゴルフ場入口、レオライナー(西武山口線)、西武ドーム、人工の狭山スキー場を右手に多摩湖自転車道を歩いていると、西武バス社内ウォークに参加の約200名の老若男女の方々と挨拶、声掛け等をお互いにしてのウォークでした。

多摩湖橋堤防の中央から多摩湖全体の眺めは素晴らしいです。多摩湖橋は、東京都東大和市にある多摩湖(村山貯水池)の上堰堤の北側に架かる、サイクリング

ロードのための橋だそうです。多くのサイクリング、ジョギングの方たちが走り去って行きました。

多摩湖自転車道鹿島休憩場で一息後は、多摩湖緑の木立を見て昼食場所を当初予定の狭山公園から後半のウォークに備えベンチ、テーブル等が多い東大和市狭山緑地に変更して昼食休憩となりました。

その後は、右側に東大和市の住宅地を見ながら、

「ひたすら歩いて」狭山公園に到着。



ここで、女性参加者に一足早いクリスマスプレゼントの差し入れです。東村山名物(だつふんだー饅頭) 東村山といえば志村けんさん。差し入れは「神谷サンタさん」でした。ご馳走様でした。

次の宅部池(やけべ池)を目指す途中に緑の木立の中、参加者の方が野生の「タヌキ」を発見、豊かな自然が残っているから生息しているようです(私は見ず残念)。

宅部池は通称(たっちゃん池)と呼ばれ「大正14年地元の少年のたっちゃん(10才)が足を滑らしこの池に落ちてしまい、それを助けようとした青年2人も溺れて、結局3人とも亡くなる」という水難事故があった悲しい歴史を持つ池です。

ゴールの武藏大和駅は、狭山公園南門を経由してすぐです。冬晴れの青空で鮮やかな紅葉は、一部しか鑑賞できませんでしたがとても綺麗でした。

スタート時の心の中の号令「ゴールまで8キロひたすら歩こう」のエンドを迎えた次第です。

寒い中「第199回定例ウォーク 紅葉の多摩湖周遊」に参加の皆様、有難うございました。

(理事：小林 京子)

### ホームページ情報

[1]2月度例会案内を12月末に掲載します

[2]会報第68号を1月初旬に掲載します

[3]ギャラリーを1月初旬に掲載いたします

※例会ウォークの中止・変更等につきましては、  
インフォメーション欄に逐次掲載してまいります。

### 会員ニュース

2025年12月23日現在、入会された新たな仲間を紹介いたします。(敬称略)

横浜市 353 川尻 僚一